平 成 25 年 度 事 業 報 告

（平成 25 年４月１日～平成 26 年３月 31 日）

平成 25 年度ＮＡＣＳ西日本支部の全事業は３月 31 日をもちまして無事終了いたしました。５つの委員会、１つの特別委員会、四国部会から成る運営委員会の方々、サポートスタッフ、支部会員、賛助会員の方々のご支援、ご協力の賜物と、厚く御礼申し上げます。

平成 25 年６月、ＮＡＣＳ、そして西日本支部は創設 25 周年の節目を迎えました。西日本支部では、支部大会記念講演として、消費者庁長官阿南久氏をお迎えし、「消費者主役の時代とは？～消費者庁の今とＮＡＣＳへの期待！～」と題し、最新の消費者行政の動向とＮＡＣＳに期待される役割についてお話いただきました。「ＮＡＣＳと共に消費者市民社会の構築を」との長官のメッセージに、参加者それぞれが、「消費者と企業、行政の架け橋」という支部活動の意義、「消費者教育の担い手」としての役割を強く意識したことでしょう。

ＮＡＣＳが「消費者の声」を直接聴く場であるウイークエンドテレホンは、この１年間に、サブ相談員も含め延べ 137 名が従事し、相談受付件数は 663 件となりました。25 年度はＷＥＴ専従相談員の育成、相談員のスキルアップのための勉強会の開催等、体制の強化を図りました。そして、１１０番事業も含め「消費者の声」を聴いているからこその強みを生かし、支部の各種事業を遂行いたしました。

「消費者市民社会の担い手」を育成する消費者教育に関しては、創立以来 25 年間継続して来た学校教育講師派遣事業として、25 年度も 20 講座に講師を派遣しました。３月に実施した派遣講師養成講座は、教育現場のニーズに適った講義をめざす相互研鑽の場となりました。毎年開催している消費者問題懇話会も、25 年度は「消費者教育」をテーマとし、事業者、行政、ＮＡＣＳそれぞれの立場から、消費者教育推進のために何が必要かを共に考える一時となりました。他団体と連携した消費者教育ということでは、四団体（ＮＡＣＳ、ヒーブ、ＡＣＡＰ、全相協）合同企画会議から生まれた２つの大学での消費者教育講座に出講いたしました。

25 年度は消費者問題スペシャリスト・レベルアップセミナーを開催、専門家としてレベルアップを図る多数の会員が、熱心に受講しました。その他の研修講座、「消費者のための標準化セミナー」、「消費者と経済の国際化を考えるセミナー」、各地で実施した消費生活アドバイザー普及制度事業においても、会員のみならず一般からも多くの参加を得、経済環境が変化する中、消費社会の最新の動向に対する参加者の関心の高さが窺えました。発足９年目となった「消費生活アドバイザー試験対策講座」は、一般対象講座、企業出張講座を実施し、単なる受験対策だけではなく、消費者視点を持った専門家の育成の場となりました。

延べ 485 名が所属する 12 の自主研究会は、それぞれの専門分野について調査研究、報告書の発行、外部団体での発表、公開講座の開催など、内外への情報発信を活発に行いました。３月に開催された自主研究会発表大会では、９つの自主研究会が、地道に継続してきた研究や活動の成果を発表しました。

ワンコイン交流会、ウエルカムパーティーの開催、支部ニュース「ハーモニー」の発行により、会員間の交流の活性化、情報提供を図るとともに、より会員の満足度を高めるべく、ホームページトップ画面リニューアル、「会員ページ」の内容の充実などにも取り組みました。

最後に、どの事業も、表に出ないところで支えてくださったスタッフ、事務担当の方々のご尽力があって遂行できましたことに感謝いたしますとともに、ご指導、ご支援くださいました行政、企業および関係諸団体の皆様にも改めて御礼を申し上げます。　　（藤原以久子）

Ⅰ．各委員会の事業実施報告

●総務委員会

１．ＮＡＣＳ西日本支部第 25 回通常大会の開催

日　時：平成 25 年６月９日（日）

場　所：大阪産業創造館

内　容：大会 12:30～13:20、講演 13:30～14:50、交流会 15:00～16:30

記念講演　テーマ　消費者主役の時代とは？～消費者庁のいまとＮＡＣＳへの期待～

講師　　消費者庁長官　阿南　久氏

参加者：大会 96 名、講演・自主研究会活動紹介 109 名、交流会 106 名

２．運営委員会の開催

開　催　日　時	出席者数	開　催　日　時	出席者数
１．平成 25 年４月３日（水）	25 名	７．平成 25 年 10 月２日（水）	24 名
２．平成 25 年５月８日（水）	24 名	８．平成 25 年 11 月６日（水）	22 名
３．平成 25 年６月５日（水）	25 名	９．平成 25 年 12 月４日（水）	22 名
４．平成 25 年７月３日（水）	25 名	10．平成 26 年 １月８日（水）	25 名
５．平成 25 年８月７日（水）	22 名	11．平成 26 年 ２月５日（水）	24 名
６．平成 25 年９月４日（水）	26 名	12．平成 26 年 ３月６日（木）	23 名

３．会員勧誘事業

(1) ＮＡＣＳ会員との交流懇親会

日　時：平成 26 年２月 27 日（木）17:00～18:15

場　所：エル・おおさか

内　容：ＮＡＣＳ西日本支部の概要紹介

ＮＡＣＳ九州支部長、ＮＡＣＳ中部支部長による挨拶

日本産業協会逸見事務局長によるお祝いの言葉

ＮＡＣＳ会員との交流を深める茶話会

参加者：33 名（消費生活アドバイザー第 34 期合格者 21 名、ＮＡＣＳ会員他 12 名）

(2)第５回ワンコイン交流会～西のひろば～兼ウエルカムパーティー

日　時：平成 26 年３月８日（土）17:30～19:00

場　所：大阪産業創造館

内　容：第１部　自主研究会の活動紹介（９研究会）

第２部　交流会

参加者：61 名（一般 10 名、ＮＡＣＳ会員 51 名）

４．懇話会事業

(1)第 35 回消費者問題懇話会

日　時：平成 25 年 11 月 28 日(木) 13:30～16:40

場　所：大阪産業創造館

テーマ：どう対応？消費者啓発活動～消費者・行政との Win-Win-Win 関係構築のために～

内　容：①基調講演：消費者教育推進法と企業への期待

講　師：大阪教育大学教授　鈴木　真由子　氏

②パネルディスカッション

パネリスト：滋賀県参事　堤　辰也　氏

（財）マルチメディア振興センター部長　吉田　正彦　氏

ＮＡＣＳ会員　馬瀬　美智代　氏

参加者：30 名

(2)企業訪問

毎日放送　　訪問日：平成 25 年 12 月 17 日(火)

５．文書管理

(1)保存資料台帳作成と運用管理

(2)運営委員マニュアルの運用管理

６．西日本支部事務所の管理

(1)事務所備品整備と管理。平成 19 年７月以降は事務担当者を雇用し、事務所管理を一部依頼している。

(2)事務担当者の執務ルールを定めた「事務担当者マニュアル」の運用と事務担当者の管理。

７．西日本支部の会員異動管理と会計の総括

(1)本部からの連絡を受け、支部会員入退会・転出入等を管理

(2)予算進捗状況の確認等

●広報委員会

１．広報活動

「健康食品なんでも１１０番」

マスコミ、行政への広報活動（９月～10 月）

行政関係：近畿経済産業局、大阪府へ後援依頼

チラシの配置及びポスター掲示の依頼

近畿地区消費者センター及びドーンセンター

大阪市立総合生涯学習センター５か所

近畿地区主要生涯学習センター５か所

近畿地区主要図書館 12 か所

近畿６府県と政令指定都市の老人クラブ連合会及び６府県の社会福祉協議会

報道関係：大阪府庁記者クラブ及び報道関係への掲載依頼

ＮＨＫに取材依頼

そ の 他 ：月刊「消費者情報」、サンケイ新聞、日本消費経済新聞に告知記事掲載

２．支部ホームページの管理、更新

(1)支部ホームページ　トップページリニューアル

トップページを６月にリニューアルして見やすくした。

(2)「ＨＰ便り」の発行

支部会員の、ホームページとりわけ掲示板の活用へ向けて「ＨＰ便り」を隔月で

発行した（平成 26 年１月、３月）。

(3)ホームページのアクセス数

平成 25 年１月から 12 月までの１年間のアクセス数は、16,940 であった。

●事業委員会関連

１．消費者相談事業

(1)電話相談「ＮＡＣＳウイークエンドテレホン関西分室」

相談受付日数：51 日

相談受付件数：663 件

相談従事会員延人数：137 名（内サブ相談員 22 名）

(2)なんでも 110 番

テーマ：健康食品なんでも 110 番

日　時：平成 25 年 11 月９日（土）・10 日（日）

相談受付件数：16 件（東日本・西日本支部合計 110 件）

場　所：西日本支部事務所、第七松屋ビル会議室

相談担当会員延人数：18 名

☆110 番事業のための事前研修２回開催

（平成 25 年 10 月 20 日（日）、研修委員会と共催。７ページ　●研修委員会３．参照）

(3)ＷＥＴ相談員研修

実施日：平成 25 年６月 22 日（土）、８月 31 日（土）、11 月 30 日（土）

場　所：第七松屋ビル会議室

参加延人数：36 名

２．消費生活アドバイザー（ＡＳＣＡ）制度普及事業

(1)大阪市　実施日：平成 25 年４月 17 日（水）
場　所：大阪市　大阪薬業会館
参加者：56 名（一般　54 名）

(2)高松市　実施日：平成 25 年 10 月 12 日（土）
場　所：高松市　生涯学習センター
参加者：30 名（一般　25 名）

(3)大阪市　実施日：平成 26 年２月 15 日（土）
場　所：大阪市　大阪府立中之島図書館別館
参加者：35 名（一般　22 名）

(4)川西市　実施日：平成 26 年２月 28 日(金)
場　所：川西市　川西市男女共同参画センター
参加者：25 名（一般　20 名）

(5)高松市　実施日:平成 26 年３月１日(土)
場　所:高松市　高松市生涯学習センター
参加者:36 名(一般　27 名)

３．消費者教育事業

(1)学校教育講師派遣事業

学校の要請に応じてＮＡＣＳ会員を講師として派遣し、消費者教育を行った。
実施校：17 校 20 講座　　受講者総人数：1434 名

実施校	実施日
１．四日市商業高等学校	平成25年6月13日 (木)
２．帝塚山大学	平成25年７月１日(月)
３．八州学園高等学校・三宮キャンパス	平成25年７月５日（金）
４．英真学園高等学校	平成25年10月９日（水）
５．大阪府立みどり清朋高等学校	平成25年10月29日（火）
６．豊岡市立中筋小学校	平成25年11月２日（土）
７．兵庫県立武庫之荘総合高校	平成25年11月22日（金）
８．兵庫県立和田山高等学校	平成25年11月29日（金）
９．堺市立美原北小学校	平成26年１月９日（木）
10．堺市立楠小学校	平成26年１月16日（木）
11．園田学園女子大学短期大学部	平成26年１月24日（金）
12．大阪府立三国ヶ丘高等学校(定時制)2講座	平成26年１月28日（火）・２月７日（金）
13.京都市立伏見工業高等学校　2講座	平成26年１月29日（水）・２月12日（水）
14．武庫川女子大学　　2講座	平成26年２月４日（火）、２限・３限
15．和歌山県立和歌山東高等学校	平成26年２月４日（火）
16．紀ノ川市立麻生津小学校	平成26年２月21日（金）
17．和歌山県立高等看護学院	平成26年２月28日（金）

(2)学校教育派遣講師養成講座
日　時：平成 26 年３月 13 日（木）13:00～16:00
場　所：第七松屋ビル 10 階　会議室
講　師：樋口容子氏　ＮＡＣＳ西日本支部副支部長
　　木村明惠氏　ＮＡＣＳ会員
参加者：15 名

４．セミナー開催（(一財）産業人材研修センター共同開催事業　）
「消費生活と経済の国際化を考えるセミナー
　～今、知りたい！海外取引、関税、ＴＰＰなど～」
実施日：平成 26 年１月 25 日（土）
場　所：大阪市　大阪産業創造館
参加者：59 名

５．消アド特派員活動（Web 版『あどばいざあ』用取材）
(1)高齢社会を考える会　平成 25 年９月 24 日(火)
(2)(株)ノーリツ　　平成 25 年 10 月 23 日(水)
(3)しが消費生活研究会　平成 26 年１月 25 日(土)
(4)イズミヤ(株)　　平成 26 年２月 11 日(火)

●研修委員会

１．施設見学会

（1）サントリー山崎蒸溜所見学会

日　時：平成 25 年４月 20 日(土) 9:30～12:30

場　所：京都府大山崎

参加者：31 人

（2）神戸簡易裁判所（模擬調停）

日　時：平成 25 年９月３日(火) 9:30～12:30

場　所：神戸市兵庫区

参加者：35 人

２．第 14 回消費者問題スペシャリスト・レベルアップセミナー

日　時：平成 25 年７月７日（日)、７月 13 日（土)、７月 14 日（日)、７月 20 日（土）

場　所：大阪府立男女共同参画・青少年センター　　大会議室 3

参加者数：延べ 526 人

実施内容

7／7（日） 4F 大会議室 3	9:50～10:00	実施要綱説明	NACS 西日本支部　研修委員会	参加人数
	10:00～12:00	消費者紛争解決への ADR の役割と課題	京都産業大学大学院 法務研究科 教授　　坂東　俊矢　氏	42 人
	12:50～14:50	住宅相談対応と相談事例について	公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター 住宅相談消費者支援本部次長 青木 稔 氏	56 人
	15:00～17:00	中古自動車をめぐるトラブルの現状と対処法	一般社団法人 自動車公正取引協議会 事務局次長　浅見　尚久　氏	52 人
7／13（土） 4F 大会議室 3	10:00～12:00	(仮)集団的消費者被害救済制度の概要と課題	弁護士　二之宮　義人　氏	31 人
	12:50～14:50	進化するスマートフォンの現状と課題	ＩＴジャーナリスト 法林　岳之　氏	48 人
	15:00～17:00	食器、調理器具等における消費者苦情事例とその原因・対策	株式会社 消費科学研究所 品質管理室雑貨グループ長 中川 聡 氏	33 人
7／14（日） 4F 大会議室 3	10:00～12:00	金融商品の法律知識 ～金融・投資トラブルの現状と課題～	弁護士　薬袋　真司　氏	60 人
	12:50～14:50	PL法による被害救済	弁護士　山本　雄大　氏	42 人
	15:00～17:00	原子力利用による放射性廃棄物の課題	京都大学原子炉実験所 助教授　今中　哲二　氏	40 人

7／20 （土） 4F 大会議室 3	10:00～ 12:00	ペットフードをめぐるトラブル	一般社団法人 ペットフード協会 木村　憲行　氏	34 人
	12:50～ 14:50	最近のネットトラブル	一般社団法人 EC ネットワーク 原田　由里　氏	54 人
	15:00～ 17:00	今後の消費者行政について	弁護士　国府 泰道　氏	34 人

３．110 番事業事前研修　（事業委員会との共催）

日　時：平成 25 年 10 月 20 日（日）

場　所：大阪府立男女共同参画・青少年センター　セミナー室 1

① 時　間：10：00～12：00

テーマ：「健康食品の問題勧誘と関連法規について」

講　師：弁護士　上田　孝治　氏

参加者：41 人

② 時　間：13：00～15：00

テーマ：「健康食品の健康被害と問題表示について」

講　師：鈴鹿医療科学大学薬学部客員教授　中村　幹雄　氏

参加者：41 人

４．夜間セミナー

日　時：平成 26 年２月７日（金）18：30～20:30

場　所：追手門学院大手前ホールＢ

テーマ：「大規模災害から人命を守るために～想定される災害に備えるには～」

講　師：摂南大学理工学部都市環境工学科教授　　片桐　信　氏

参加者：19 人

●会員活動委員会

１．西日本支部ニュース『ハーモニー』の編集及び発行

西日本支部会員に支部運営や会員活動についての情報提供を目的とするＮＡＣＳ西日本支部ニュース『ハーモニー』を毎月１日付で No.294 から No.305 の計 12 回発行。No.300 は記念号として発行。

支部ホームページの「会員のページ」にハーモニー紙面を掲載。

２．自主研究会活動

(1)自主研究会概要　（平成 26 年３月現在）

研究会名	会員数	会合等の回数	代表者氏名
環境問題研究会	14	11	児仁井 みどり
基礎学習分科会	340	15	番田 晶子
くらしの情報発信研究会	21	13	三好 哲也
くらしを考える会	8	12	泉保 倫江
高齢社会を考える会	9	14	櫛田 キヌエ
しが消費生活研究会	8	8	城戸 譲二
消費者教育研究会	13	21	渡辺 富美
商品の使いやすさとマニュアル研究会	7	17	黒田 園子
食文化を識る会	5	7	田畑 卿子
事例研究会	31	11	寺田 美子
繊維製品研究会	11	12	平郡 雅代
西日本ＣＳ研究会	20	12	中村 智恵美
合　計	485	157	

(2)各自主研究会活動の概要

研究会名	活動内容（研究テーマ、公開講演会開催、冊子発行、発表など）
環境問題研究会	１．調査研究テーマ：「エネルギーについて」 ①大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 見学（４月） ②フィールドワーク「農業体験」（４月） ③毎日新聞「節電に関するインタビュー」（11 月） ④例会 11 回 ２．公開講座・講演会等の開催（開催日、参加者） ①「すまいのエネルギー」講演会　（６月１日、18 名） ３．冊子「なにわ得子さん　シリーズ４　エコな家をさがそう」発行 ４．「第８回自主研究会発表大会」で発表

基礎学習分科会	１．基礎学習分科会会員の懇親、情報発信 メーリングリスト 101 回発信（２月末時点） ２．公開講座・講演会等の開催（開催日、参加者） ①「資格をとっての第一歩」（６月２日、17 名） ②「朝日新聞大阪本社　夏休み親子見学会」（８月１日、36 名） ③「知っておきたい！ケータイ・スマホの安全な使い方」 （11 月 23 日、25 名） ④「これは使える。使えない。～視覚障がい者の方と消費生活について考えよう～」、及び懇親会　（２月 16 日、18 名） ３．『アドバイザー通信 165 号～168 号』及び同特別号（５月）を発行 （５月、８月、11 月、２月）
くらしの情報発信研究会	１．例会開催：10 回 ２．公開講座・講演会等の開催（開催日、参加者） ①「TIPS メルマガミニ講座＆茶話会」（５月 26 日、９名） ②「仕事にも役立つ長文入門講座」（８月 31 日、14 名） ③「Word を使った冊子づくり講座」（９月 29 日、16 名） ３．「第８回自主研究会発表大会」で発表 ４．冊子・報告書等の発行 ①「まぐまぐ！」を用いた一般向けにメルマガ「TIPS 通信 199 号～250 号」を週刊発行 ②ちょっと得する情報紙「TIPS INFOS vol.2」（メルマガ集）発行 ③TIPS 会員によるリレー論文「TIPS ご意見番 17 号～18 号」発行
くらしを考える会	１．勉強会：12 回 スマホ＆タブレットの勉強会を通じて会員の交流とスキルアップを図った。 ２．「ＡＳＣＡ　in 高松」への支援 四国部会と連携し、消費生活アドバイザーに関心を持つ人へ制度と概要説明を実施
高齢社会を考える会	１．調査研究テーマ：「自宅に長く住み続けるために」 ①例会 14 回 ２．「第８回自主研究会発表大会」で発表 ３．冊子『平成シニアのいろはかるた』を発行（３月） ４．他団体への講師派遣：４件（詳細は下に記載）
しが消費生活研究会	１．調査研究テーマ：「滋賀」をキーワードに「地域特有の消費者問題に関する研究」の実施を通じて会員のレベルアップと交流の推進。 ①定例会６回 ２．見学会・公開講座・講演会等の開催（開催日、参加者） 「びわ湖環境ビジネスメッセ 2013 見学会」（10 月 26 日、５名） 「発足記念講演会」（12 月７日、26 名） ３．「第８回自主研究会発表大会」で発表

消費者教育研究会	１．調査研究テーマ：「金融商品について」 ２．定例会：10 回 ３．公開講座・講演会等の開催（開催日、参加者） 「あなたはどの運用タイプ？～ファイナンシャル・プランニングの現場から」（８月 31 日、18 名） ４．「第８回自主研究会発表大会」で発表 ５．啓発講座講師派遣：３件（詳細は下に記載） ６．他団体での発表：３件（消費者情報、10 月 24 日 大阪府消費者フェア啓発劇、2 月 25 日 国民生活センター消費者フォーラム） ７．「知っておきたい税金の知識」発行
商品の使いやすさとマニュアル研究会	１．調査研究テーマ：「取扱説明書に関する調査研究Ⅰ」 例会：17 回 エアコン・テレビ・スマホ・携帯電話の 4 品目について調査、研究。 ２．「取扱説明書に関する調査研究Ⅰ」発行（３月） ３．「第８回自主研究会発表大会」で発表 ４．外部団体への発表：「消費者法ニュース 95 号」 「もしもあなたの家が停電になったら」（４月 30 日）
食文化を識る会	１．調査研究テーマ：「世界の食材や料理の体験、日本の伝統食や地方独自の食材や料理等」 ２．講演会・講座・見学会の開催 ①大阪府立大学植物工場研修センター見学（６月 11 日） ②講演会「食の安心安全と完全人工型植物工場」（９月５日） ③生物多様性についての連続講座 ①「生物多様性についてもっと知ろう」（11 月 30 日） ②「生物多様性について伝える言葉を増やそう」（12 月１日）
事例研究会	１．定例の事例研究会 圓山茂夫氏、岡田崇弁護士を講師に招き８回開催（16 テーマ） ２．公開講座・講演会等の開催（開催日、参加者） ①「資金決済について」（６月 15 日、36 名） ②「生命保険の基礎知識を学ぶ」（９月 21 日、30 名） ③「クレジット講座」（12 月 21 日、26 名） ３．「第８回自主研究会発表大会」で発表

繊維製品研究会	１．調査研究テーマ：「繊維製品の安全性について」 ①勉強会：11 回 ②新聞掲載「梅雨と洗濯～ニオイ対策」（６月 21 日） ③見学会の実施「消費科学研究所」 （９月 25 日、18 名） ２．公開講座・講演会等の開催（開催日、参加者） ①「繊維製品の安全性に関する講演会」（11 月 29 日、26 名） ②「JIS 取扱い絵表示の国際整合化について」（２月８日、19 名） ３．「西日本支部標準化セミナー」で発表（12 月 14 日、45 名） ４．「第８回自主研究発表大会」で発表
西日本ＣＳ研究会	１．調査研究テーマ：「ＣＳとＥＳについて」 ①総会・例会・研修会：８回 ②フィールドワーク：２回（６月、11 月） ２．公開講座・講演会等の開催（開催日、参加者） ①「嵯峨野トロッコの列車の 23 年～観光産業の振興に向けて」 公開講座（９月 29 日、41 名） ②「観光の最前線におけるお客様満足と社員満足～運命の船と 17 年～」（２月９日、20 名） ３．「第８回自主研究会発表大会」で発表

(3)平成 25 年度報告書、刊行物

①環境問題研究会　「なにわ得子さん　シリーズ４　エコな家をさがそう」
②基礎学習分科会　「アドバイザー通信 165 号～168 号」及び同特別号
③暮らしの情報発信研究会　「ＴＩＰＳ　ＩＮＦＯＳ　vol.2」
④高齢社会を考える会　「平成シニアのいろはかるた」
⑤商品の使いやすさとマニュアル研究会　「取扱説明書に関する調査研究Ｉ」
⑥消費者教育研究会　「知っておきたい税金の知識」

(4)外部団体での発表

①高齢社会を考える会

１）平成 25 年６月 21 日（金）　明石市立高齢者大学
講座「高齢期の住まいを考える①」講師派遣
２）平成 25 年６月 28 日（金）　明石市立高齢者大学
講座「高齢期の住まいを考える②」講師派遣
３）平成 25 年９月 27 日（金）　明石市立高齢者大学
講座「高齢期の住まいを考える③」講師派遣
４）平成 25 年 12 月７日（土）　滋賀県ピアザ淡海
講座「高齢期　自分らしく暮らすために」講師派遣

②消費者教育研究会

１）平成 25 年 10 月 23 日（水）茨木支援学校啓発講座
２）平成 26 年１月 28 日（火）三国ヶ丘高校定時制啓発講座
３）平成 26 年２月７日（金）三国ヶ丘高校定時制啓発講座

３．自主研究会活動への支援

(1)「自主研究会代表者会議」の開催

自主研究会の年間活動予定及び活動報告などについての情報交換を行う。

①「第１回自主研究会代表者会議」

日　時：平成 25 年５月 26 日(日)　10:00～12:00

場　所：ドーンセンター4 階　中会議室２

出席者：25 名（うち代表者等 17 名）

②「第２回自主研究会代表者会議」

日　時：平成 26 年２月 16 日(日)　10:00～12:00

場　所：大阪産業創造館 6 階　会議室Ａ

出席者：27 名（うち代表者等 19 名）

(2)「第８回自主研究会発表大会」の開催

日　時：平成 26 年３月８日(土)　13:30～19:00

場　所：大阪産業創造館 4 階　イベントホール

参加者：77 名

発　表：９自主研究会（発表順、発表自主研究会名とテーマ）

①しが消費生活研究会　「滋賀県民の消費特性」

②高齢社会を考える会　「いろはかるた」

③事例研究会　「消費生活相談員は見た」シリーズ第二弾「信じられない！　こんなことが起こるなんて」

④商品の使いやすさとマニュアル研究会　「『取扱説明書に関する調査研究①』－エアコン、テレビ、携帯電話、スマートフォンについて－」

⑤環境問題研究会　「家庭のエネルギー・エコな家をさがそう」

⑥消費者教育研究会　「知っておきたい税金の知識」

⑦繊維製品研究会　「取扱い絵表示の整合化について消費者視点から」

⑧西日本ＣＳ研究会　「ＣＳとＥＳについて」

⑨くらしの情報発信研究会　「プレゼンテーションのご紹介」

講　評：惣宇利　紀男　氏（関西消費者協会理事長）

●消費生活アドバイザー試験対策特別委員会

１．企業１社への出張講座

平成 25 年６月５日（水）～８月 28 日（水）　計８回

受講者：13 名　　最終合格者：２名

２．大阪会場で一般向け講座実施

平成 25 年５月 25 日(土)、６月１日(土)～７月 27 日(土)　　計９回

受講者：19 名　　最終合格者：０名

３．模擬試験：平成 25 年９月 15 日(日)

受講者：26 名　　最終合格者：２名

４．論文・面接対策講座：平成 25 年 11 月 16 日(土)

受講者：13 名　　最終合格者：７名

５．二次試験通信添削講座：平成 25 年８月～11 月中旬
受講者 38 名　　最終合格者：14 名

６．講義教材購入者　　一般購入者：13 名　　団体：４団体（26 セット）

７．受験結果（重複受講者含む）：何らかの形で講座に参加した受講者から 23 名合格（合格者 306 名中）

Ⅱ．四国部会の事業実施報告

１．ＡＳＣＡ事業：（４ページ　●事業委員会　２．(2)、(5)参照）

Ⅲ．その他の事業

１．西日本支部・(一財）日本規格協会共催「消費者のための標準化セミナー」
日　時：平成 25 年 12 月 14 日（土）13:30～16:20
場　所：(一財）日本規格協会関西支部研修室Ａ
内　容：第一部「洗濯絵表示改定を中心とした最近の標準化の動向」
報告１.「ＪＩＳ　Ｌ0217 の改定について（原案作成中の情報)」
講師：経済産業省　産業技術環境局　環境生活標準化推進室　永田 邦博氏
報告２.「繊維製品の取り扱い表示について　消費者視点から」
講師：支部自主研究会繊維製品研究会　川口 美智子氏
第二部「標準化とユニバーサルデザイン」
講演.「ユニバーサルデザインとは」
講師：神戸芸術工科大学デザイン学部プロダクトデザイン科教授　相良 二朗氏
パネルディスカッション
コーディネーター：相良 二朗氏
パネリスト：ＮＰＯ法人ユニバーサルファッション協会副理事長・(株)Peace21
代表取締役　　佃 由紀子氏
ＮＡＣＳ会員　川口 美智子氏　　ＮＡＣＳ会員　竹田 幸代氏
参加者：45 名

２．西日本支部・(一財）産業人材研修センター共同開催セミナー
日　時：平成 26 年１月 25 日（土）　13：30～16：30
場　所：大阪産業創造館　６階　会議室Ｅ
テーマ：「消費生活と経済の国際化を考えるセミナー
～今、知りたい！海外取引、関税、TPP など～」
内　容：1.報告講演　「消費者庁越境消費者センター（CCJ)の取組と相談状況」
講師：消費者庁消費者政策課
国際連携第１係長　村山　貴将氏
2.講演　「私たちの暮らしどうなるの？TPP！！」
講師：みずほ総合研究所
上席主任研究員　菅原　淳一氏
参加者：59 名

３．出版物発行

『入門！消費者』を 11 月に改訂、第 3 版を発行。大学、自治体センター等が購入。

４．他団体との交流

平成 25 年４月 24 日(水)、７月 10 日（水）
四団体（ＡＣＡＰ,ヒーブ、ＮＡＣＳ、全相協）合同企画会議
関西学院大学、神戸学院大学に於いて四団体による講座開講

平成 25 年６月８日（土） 消費者教育学会関西支部『関西発！消費者市民社会の担い手を育む』発行事業、編集委員会に参加

平成 25 年７月６日（土） 消費者法ニュース発行会議「リレー報告会」にて報告

平成 25 年９月６日（金） （社）生命保険協会との懇談会

平成 25 年９月６日（金） 大阪府中央卸売市場運営取引業務協議会に出席

平成 25 年９月９日（土)、11 月 18 日（月）
近畿ブロック「地方消費者グループ・フォーラム in 奈良」
実行委員会参加

平成 25 年９月 21 日（土） （公財）生命保険文化センターの講座「事例研究」(10 ページ、会員活動委員会、自主研究会活動の概要の事例研究会の項参照)

平成 25 年 10 月４日（金） 大阪府消費者保護審議会出席

平成 25 年 10 月 24 日（木） 近畿経済産業局主催「家電リサイクルプラント見学会」支部として参加　　参加者：25 名

平成 25 年 10 月 30 日（水）平成 26 年 1 月 24 日（金）
おおさかスマートエネルギー協議会家庭部門意見交換会参加

平成 25 年 11 月４日（日） 大阪府消費者フェアに実行委員会から参加、寸劇発表（11 ページ、会員活動委員会、※外部団体での発表の項参照）

平成 26 年１月 30 日（木） 大阪市消費者保護審議会出席

平成 26 年２月 12 日（水） 近畿ブロック「地方消費者グループ・フォーラム　in　奈良」壁新聞交流会＆リレー紹介に参加　第２分科会で発表

平成 26 年２月 17 日（月） （一社）日本損害保険協会との懇談会

平成 26 年２月 22 日（土） 消費者庁主催「食品中の放射性物質に関するコミュニケーター養成研修参」参加　　参加者：30 名

平成 26 年２月 28 日（金） 第 25 回大阪市中央卸売市場本場・東部市場運営協議会出席

平成 26 年３月 26 日（水） 第 15 回大阪市中央卸売市場南港市場運営協議会出席

５．ＮＡＣＳ西日本支部人材名簿登録活用状況

(1)登録者：計 418 名（男性 66 名、女性 352 名）

(2)平成 25 年度の求人： 計 39 件（行政相談員：17 件、企業相談員：７件、行政臨時職員：１件、行政アルバイト：１件、協会：講座運営１件・事務局員１件、取材対応：３件、行政法人技術補助職員：１件、講座講師：５件、審査員：１件、テレビ出演：１件）

以上